

可能となり今後の肝硬変診療水準の向上と経済効果が期待できるものと考えている。

## F. 健康危険情報

特に無し

## G. 研究成果

### 学会発表

福島秀樹、三輪佳行、栗山尚子、森脇久隆 他、肝硬変患者における分岐鎖アミノ酸 (BCAA) 就寝前投与の蛋白・エネルギー代謝への影響。第43回日本消化器病学会大会 (DDW-Japan 2001) 2001年10月19日 京都

Fukushima H, Miwa Y, Ida E, Moriwaki H, et al. Effects of nocturnal branched-chain amino acid supplementation on protein metabolism in patients with liver cirrhosis. World Congress of Gastroenterology 2002年2月27日 パンコク

Nabeshima M, Tanaka K: Hepatitis and Transplantation. 3rd Korea-Japan Transplantation Forum, Seoul, 2002.9.28,

鍋島紀滋、岩井晃男、上本伸二、木内哲也、江川裕人、貝原聡、田中紘一、千葉勉：肝移植後 C 型肝炎に対する治療経験。第38回日本肝臓学会総会 大阪 2002.6.13

鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：ウイルス性肝硬変に対する生体肝移植。第99回日本内科学会講演会 名古屋 2002.3.28

鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：シンポジウム「消化器疾患診療における最先端 肝胆膵」ウイルス性肝硬変に対する生体肝移植。第74回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪 2001.9.8

鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：ワークショップ 21「肝不全の病態と治療」ウイルス性肝硬変に対する生体肝移植。第37回日本肝臓学会総会 横浜 2001.5.18

鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：パネルディ

スカッション「ウイルス性肝硬変、肝細胞がんに対する生体肝移植 - current strategy -」ウイルス性肝硬変、肝細胞癌に対する生体肝移植の成績と適応。第4回日本肝臓学会大会 (DDW-Japan 2000) 神戸 2000.10.26

鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：パネルディスカッション「症例から見た生体肝移植適応時期の決定」胆汁うっ滞性肝硬変、ウイルス性肝硬変、劇症肝炎に対する生体肝移植適応時期についての検討。第36回日本肝臓学会総会 福岡 2000.6.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Tsujinoue H, Fukui H. Inhibition of vascular endothelial growth factor and receptor, KDR/FLK-1 interaction attenuates the murine liver fibrosis development. 53rd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. 2002, 11, 1-5, Boston, USA.

Noguchi R, Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Yanase K, Namisaki T, Tsujinoue H, Fukui H. Synergistic inhibitory effect of interferon and ACE inhibitor in murine hepatocellular carcinoma development and angiogenesis. 53rd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. 2002, 11, 1-5, Boston, USA.

Ikenaka Y, Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Tsujinoue H, Fukui H. Tissue inhibitor of metalloproteinases-1 (Timp-1) inhibits tumor growth and angiogenesis in the liver-targeted timp-1 transgenic mouse model. 53rd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. 2002, 11, 1-5, Boston, USA.

辻之上裕久、福井博、栗山茂樹。ワークショップ 12: 「進行肝癌に対する治療の工夫」。多中心性肝癌に対する IL-2 を用いた免疫遺伝子療法の基礎的検討。第6回日本肝臓学会大会 (DDW-Japan). 2002, 10, 24-25, 横浜.

黒河内和貴、正木勉、栗山茂樹。ワークショップ 14: 「HCV の virology と免疫」。C 型肝炎における肝細胞死を惹起エフェクター細胞の解析。第6回日本肝臓学会大会 (DDW-Japan). 2002, 10, 24-25, 横浜.

黒河内和貴, 渡辺精四郎, 正木勉, 宮内嘉明, 舟木利治, 細見直樹, 吉田周平, 小原英幹, 行政聡子, 金玉姫, 栗山茂樹. DDW 合同プレナリーセッション 1: 肝臓に対する治療戦略: エタノール注入併用ラジオ波治療 (PEI-RFA)を用いて. 第 6 回日本肝臓学会大会(DDW-Japan). 2002, 10, 24-25, 横浜.

栗山茂樹, 辻之上裕久, 中谷敏也, 吉治仁志, 舟木利治, 宮内嘉明, 細見直樹, 正木勉, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 福井博. 肝臓に対する自殺遺伝子治療-チミジンキナーゼ遺伝子とシトシンデアミナーゼ遺伝子の比較検討. 第 88 回日本消化器病学会総会. 2002, 4, 24-26, 旭川.

栗山茂樹, 正木勉, 木田裕子, 室田将之, 舟木利治, 宮内嘉明, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 辻之上裕久, 吉治仁志, 福井博. Housekeeping 遺伝子プロモーターと AFP 遺伝子エンハンサーから成るキメラ制御因子を用いた肝臓細胞特異的自殺遺伝子発現の誘導. 第 38 回日本肝臓学会総会. 2002, 6, 13-14, 大阪.

吉治仁志, 吉井純一, 池中康英, 野口隆一, 築瀬公嗣, 浪崎正, 辻之上裕久, 栗山茂樹, 福井博. Retro-Tet system による VEGF 腫瘍増大効果に対する flt-1 受容体阻害効果の検討. 第 61 回日本癌学会総会. 2002, 10, 1-3, 東京.

野口隆一, 吉治仁志, 吉井純一, 池中康英, 築瀬公嗣, 浪崎正, 辻之上裕久, 栗山茂樹, 福井博. インターフェロンと ACE 阻害剤の VEGF 阻害作用に基づく肝臓発育抑制に対するアジュバント効果. 第 61 回日本癌学会総会. 2002, 10, 1-3, 東京.

築瀬公嗣, 吉治仁志, 吉井純一, 池中康英, 野口隆一, 浪崎正, 辻之上裕久, 栗山茂樹, 福井博. レニンアンジオテンシン系抑制による肝臓発育抑制の試み. 第 61 回日本癌学会総会. 2002, 10, 1-3, 東京.

辻之上裕久, 吉治仁志, 吉井純一, 池中康英, 野口隆一, 栗山茂樹, 福井博. IL-2 遺伝子を用いた多発性肝臓に対する免疫遺伝子療法の基礎的検討. 第 61 回日本癌学会総会. 2002,

10, 1-3, 東京.

池中康英, 吉治仁志, 吉井純一, 野口隆一, 築瀬公嗣, 浪崎正, 辻之上裕久, 栗山茂樹, 福井博. 銅キレート剤による肝臓の chemoprevention の可能性. 第 61 回日本癌学会総会. 2002.10.1-3, 東京.

吉田周平, 正木勉, 宮内嘉明, 舟木利治, 行政聡子, 小原英幹, 木田裕子, 船越文美, 栗山茂樹. 肝臓癌における Shc の発現増強-肝臓癌モデルラット(LEC ラット)を用いた検討. 第 61 回日本癌学会総会. 2002, 10, 1-3, 東京.

舟木利治, 三好久昭, 松原玄明, 宮内嘉明, 細見直樹, 正木勉, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 栗山茂樹. 非 B 非 C 型肝臓癌の臨床像\_B 型および C 型肝臓癌との比較検討. 第 88 回日本消化器病学会総会. 2002, 4, 24-26, 旭川.

正木勉, 徳田雅明, 舟木利治, 宮内嘉明, 吉田周平, 室田将之, 船越文美, 大賀拓二, 小原英幹, 行政聡子, 中井誠二, 森下朝洋, 扇喜智寛, 細見直樹, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 栗山茂樹. 肝臓癌における myristoylated alanine-rich C kinase substrate (MARCKS)の局在変化とリン酸化の増強. 第 38 回日本肝臓学会総会. 2002, 6, 13-14, 大阪.

舟木利治, 黒河内和貴, 中野覚, 日野一郎, 宮内嘉明, 細見直樹, 正木勉, 渡辺精四郎, 栗山茂樹. 部分的脾動脈塞栓術前後における門脈血流量の変化について. 第 44 回日本消化器病学会大会(DDW-Japan). 2002, 10, 24-26, 横浜.

西脇功, 辻之上裕久, 栗山茂樹, 吉治仁志, 池中康英, 野口隆一, 吉井純一, 福井博. 多剤耐性遺伝子発現肝臓癌細胞に対するアドリアマイシンを用いた electrochemotherapy の有用性に関する基礎的検討. 第 44 回日本消化器病学会大会(DDW-Japan). 2002, 10, 24-26, 横浜.

吉田周平, 正木勉, 宮内嘉明, 舟木利治, 行政聡子, 小原英幹, 大賀拓二, 北出幸大, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 松本耕三, 栗山茂樹. 肝臓癌における Shc の発現増強-肝臓癌モ

デルラット(LEC ラット)を用いた検討. 第 6 回日本肝臓学会大会(DDW-Japan). 2002, 10, 24-25, 横浜.

肝線維化評価におけるエラストメーターの有用性. 多田慎一郎、齋藤英胤、石井裕正.  
ワークショップ：肝線維化治療の評価法.  
第 45 回日本消化器病学会総会 (DDW-Japan 2003 OSAKA)

高齢者に対する低侵襲性診断：肝線維化のエラストメーターによる測定. 齋藤英胤、多田慎一郎、中本伸宏、岩井宏方、石井裕正. 第 6 回日本高齢消化器医学会議

コリン欠乏ラット肝の脂肪化および線維化に対するアンジオテンシン II 受容体拮抗薬の抑制効果. 北村公美、多田慎一郎、中本伸宏、戸田京子、栗田 聡、齋藤義正、常松 令、熊谷直樹、齋藤英胤、石井裕正.  
第 8 9 回日本消化器病学会総会、04/26/03、さいたま

Kitamura K, Toda K, Tsunematsu S, Kumagai N, Horikawa H, Nakamoto N, Saito H, Ishii H. Possible involvement of rho-kinase pathway in the tissue angiotensin system of the hepatic fibrogenesis. 54th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. 10/24/03, Boston, USA (Hepatology 38(4), 332A-333A, 2003)

Fukushima H, Miwa H, Tomita E, Moriwaki H, et al. Nocturnal branched-chain amino acid administration improves protein metabolism in patients with liver cirrhosis: comparison with daytime administration The 8th Congress of Parenteral and Enteral Nutrition Society of Asia 2002 年 11 月 6 日 高知

長田成彦、渡辺勲史、幕内博康、他：肝癌合併、非合併食道静脈瘤に対する EIS、EVL の治療効果の比較. 第 10 回日本門脈圧亢進症学会総会. 横浜. 9.11-12,2003

Ichida T: Living donor liver transplantation for autoimmune hepatitis in Japan. The Second Single Topics Conference of Japanese Society of Hepatology, 2004-10-13, (Otsu, Shiga)

吉田周平、正木 勉、松村 正、宮内嘉明、

舟木利治、行政聡子、小原英幹、韓 峰、金 玉姫、黒河内和貴、佐々原勝幸、高杉健太、渡辺精四郎、栗山茂樹. ヒト肝細胞癌における Shc の発現増強とその局在. 第 39 回日本肝臓学会総会. 2003.5.22-23, 福岡.

正木 勉、韓 峰、金 玉姫、田中美鈴、吉田周平、行政聡子、木田裕子、船越文美、宮内嘉明、舟木利治、小原英幹、黒河内和貴、渡辺精四郎、栗山茂樹. 肝細胞癌における癌遺伝子 c-Yes の活性化. 第 39 回日本肝臓学会総会. 2003.5.22-23, 福岡.

木田裕子、正木 勉、船越文美、田中美鈴、行政聡子、宮内嘉明、舟木利治、黒河内和貴、渡辺精四郎、栗山茂樹. LEC ラットの肝癌発生過程における細胞周期関連遺伝子の発現レベルの検討. 第 39 回日本肝臓学会総会. 2003.5.22-23, 福岡.

池中康英、吉井純一、野口隆一、山崎正晴、栗山茂樹、築瀬公嗣、浪崎 正、吉治仁志. ワークショップ 1「湿潤・転移モデル(I)」TIMP-1 トランスジェニックマウスを用いた外因性 TIMP-1 のマウス腫瘍発育におよぼす影響. 第 12 回日本がん転移学会学術集会. 2003.6.27-28, 金沢.

吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎 正、山崎正晴、栗山茂樹. ワークショップ 3「血管新生」Retro-Tet system を用いた VEGF 腫瘍増大作用に対する VEGFR-1、VEGFR-2 各受容体. 第 12 回日本がん転移学会学術集会. 2003.6.27-28, 金沢.

吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎 正、山崎正晴、栗山茂樹、吉治仁志. ワークショップ 3「血管新生」銅キレート剤を用いた血管新生阻害による肝癌抑制作用. 第 12 回日本がん転移学会学術集会. 2003.6.27-28, 金沢.

築瀬公嗣、吉井純一、池中康英、野口隆一、浪崎 正、山崎正晴、栗山茂樹、吉治仁志. ワークショップ 3「血管新生」血管新生阻害に基づく肝癌治療の可能性：低用量 ACE 阻害剤、5-FU 併用の肝癌発育抑制効果. 第 12 回日本がん転移学会学術集会. 2003.6.27-28,

金沢.

浪崎 正、池中康英、吉井純一、築瀬公嗣、野口隆一、山崎正晴、栗山茂樹、吉治仁志. ワークショップ 7「分子標的治療」インターフェロンと ACE 阻害剤の VEGF 阻害作用に基づく肝癌発育抑制に対するアジュバント効果. 第 12 回日本がん転移学会学術集会. 2003.6.27-28, 金沢.

吉田周平、正木 勉、黒河内和貴、木田裕子、田中美鈴、舟木利治、辻之上裕久、吉治仁志、栗山茂樹. 肝発癌過程における Shc の動態：ヒト肝細胞癌における検討. 第 62 回日本癌学会総会. 2003.9.25-27, 名古屋.

池中康英、吉治仁志、吉井純一、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎 正、北出光輝、山崎正晴、美登路 昭、辻之上裕久、栗山茂樹、福井 博. 肝発癌過程における肝細胞癌と細胞外マトリックスの役割. 第 62 回日本癌学会総会. 2003.9.25-27, 名古屋.

木田裕子、正木 勉、船越文美、黒河内和貴、吉田周平、宮内嘉明、樋本尚志、吉治仁志、栗山茂樹. 肝発癌過程における細胞周期関連分子の発現変化：LEC ラットを用いた検討. 第 62 回日本癌学会総会. 2003.9.25-27, 名古屋.

吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎 正、北出光輝、山崎正晴、美登路 昭、辻之上裕久、栗山茂樹、福井 博. 肝発癌および自然肺転移過程における VEGFR-1、VEGFR-2 受容体の役割. 第 62 回日本癌学会総会. 2003.9.25-27, 名古屋.

築瀬公嗣、吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、浪崎 正、北出光輝、山崎正晴、美登路 昭、栗山茂樹、福井 博. 血管新生阻害による ACE 阻害剤、低用量 5-FU 併用による肝癌発育抑制効果. 第 62 回日本癌学会総会. 2003.9.25-27, 名古屋.

飯領田久巳男、渡辺精四郎、木田裕子、船越文美、黒河内和貴、西岡幹夫、栗山茂樹. 低用量インターフェロン療法により著効を呈した後に自己免疫性肝炎を発症した血小板 5.5 万の C 型肝硬変の 1 例. 第 45 回日本消

化器病学会大会. 2003.10.15-17, 大阪.

辻之上裕久、櫻井伸也、中谷吉宏、北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、福井 博. アドリアマイシン、ビンブラスチン、マイトマイシン C を用いた MDR-1 発現肝癌細胞に対する electrochemotherapy の有用性. 第 45 回日本消化器病学会大会. 2003.10.15-17, 大阪.

木田裕子、正木 勉、船越文美、田中美鈴、宮内嘉明、舟木利治、黒河内和貴、渡辺精四郎、栗山茂樹. LEC ラットの肝発癌における細胞周期関連分子および細胞増殖因子の発現変動に関する検討. 第 7 回日本肝臓学会大会. 2003.10.15-16, 大阪.

吉田周平、正木 勉、韓 峰、金玉姫、行政聡子、舟木利治、宮内嘉明、小原英幹、内田善仁、渡辺精四郎、黒河内和貴、栗山茂樹. 肝細胞癌における Shc の発現増強とその局在：ヒトおよびラットにおける検討. 第 7 回日本肝臓学会大会. 2003.10.15-16, 大阪.

船越文美、正木 勉、木田裕子、田中美鈴、宮内嘉明、舟木利治、黒河内和貴、渡辺精四郎、栗山茂樹. 肝硬変形成過程における INK ファミリー (p16INK4A, p15INK4B, p18INK4C) の発現レベルの検討：real-time RT-PCR 法を用いた検討. 第 7 回日本肝臓学会大会. 2003.10.15-16, 大阪.

金玉姫、正木 勉、吉田周平、韓 峰、行政聡子、舟木利治、宮内嘉明、小原英幹、渡辺精四郎、黒河内和貴、栗山茂樹. 肝再生過程における Shc の発現増強とその局在 -p46Shc は増殖肝細胞の核に強発現する. 第 7 回日本肝臓学会大会. 2003.10.15-16, 大阪.

樋本尚志、宮内嘉明、舟木利治、正木 勉、黒河内和貴、杵川文彦、井上秀幸、渡辺精四郎、栗山茂樹. IGF-II mRNA 結合蛋白に対する自己抗体の意義：肝細胞癌患者における検討. 第 35 回日本肝臓学会西部会. 2003.11.28-29, 岡山.

発表論文

Suzuki K, Takikawa Y: Marked improvement in

the resolution of, and survival rates in, spontaneous bacterial peritonitis. *J Gastroenterol* 37: 149-150, 2002

三浦義明, 遠藤龍人, 鈴木一幸 : 腹水の治療のチェックポイント. *臨床消化器内科* 17: 1053-1059, 2002

井上義博, 鈴木一幸 : 食道静脈瘤・門脈圧亢進症. *総合臨床* 51: 1483-1487, 2002

加藤章信, 鈴木一幸, 岩井正勝, 渡辺雄輝 : 潜在性肝性脳症の診断と治療. *肝胆膵* 44: 665-674, 2002

市田隆文, ほか : 原発性胆汁性肝硬変の肝内リンパ球解析—生体肝移植レシピエント組織を用いて—厚生科学研究補助金. 特定疾患対策研究事業. 難治性の肝疾患に関する研究. 平成 13 年度 総括・分担研究報告書, 2002 年, 78-82 頁.

Ichida T and Satoh Y: Prophylaxis and posttransplant treatment of viral hepatitis in living donor liver transplantation. In; *Current Issues in Liver and Small Bowel Transplantation, Keio University International Symposia for Life Sciences and Medicine Volume 9*. Edited by M Kitajima, M Shimazu, G Wakabayashi, K Hoshino, M Tanabe, S Kawauchi, Springer-Verlag, Tokyo, 2002, pp62-71.

Ichida T: Viral cirrhosis and hepatocellular carcinoma in relation to living-donor liver transplantation. In; *Molecular Biology and Immunology in Hepatology*, edited by T. Tsuji, Higashi T, Zeniya M and K-H. Meyer zum Buschenfelde, Elsevier Science, Amsterdam, Tokyo, 2002, pp319-335.

市田隆文, ほか : 肝移植-原発性胆汁性肝硬変、臨床肝臓病-症例による生検、電顕、画像、治療-改訂第3版、市田文弘、市田隆文編、日本メディカルセンター、東京、2001年、312-316 頁

市田隆文, ほか : 肝移植の適応、肝細胞癌、肝胆膵フロンティア 12 肝移植の up to date、沖田 極、神代正道、小林健一、二川俊二編、診断と治療社、東京、2001 年 3 月、23-27 頁.

松波英寿、市田隆文、ほか : C 型肝硬変に対する生体肝移植、第 21 回犬山シンポジウム 高度進行肝細胞癌、生体部分肝移植、B 型、C 型慢性肝炎治療、犬山シンポジウム記録刊行会編、中外医学社、東京、2000 年、pp 111-117

市田隆文 : 肝臓に対する肝移植. 劇的な予後の改善が見込めないという立場から. *Frontiers in Gastroenterology* 2002; 7(3): 2002-2007.

市田隆文 : 成人肝移植を考慮するタイミング移植を考慮するタイミング. *消化器画像* 2002;4(2):159-164.

Takimoto M, Ichida T, et al: Interferon inhibited the progression of liver fibrosis and reduced the risk of hepatocarcinogenesis in the patients with chronic hepatitis C. *Dig Dis Sci* 2002; 47(1): 170-176.

Sato Y, Ichida T, et al: Preoperative administration of 5-FU and IFN beta may prevent recurrence of hepatitis B and C virus. *Amer J Gastroenterol* 2002; 97(1): 215-216.

市田隆文 : 肝不全に対する生体肝移植. *臨床と研究* 2001; 78(11): 2082-2084.

佐藤好信、市田隆文 : 肝腎複合移植.腎と透析 2001; 51(4): 489-492.

市田隆文 : 肝臓移植、移植の適応-消化器内科医はどのような成人肝疾患や肝病態を肝移植の適応と考えるのか. *臨床消化器内科* 2001; 16(13): 1723-1729.

市田隆文、ほか : 肝移植における肝炎ウイルス対策. *外科* 2001;63(11):1345-1353.

Sato Y, Ichida T, et al: Real time measurement of anti-HBs levels and donor specific transfusion via portal vein may reduce amount of HBIG after living related donor liver transplantation. *Amer J Gastroenterol*. 2002; 97(2): 488-489

市田隆文、佐藤好信 : 劇症肝不全に対する肝移植の適応基準. *肝胆膵* 2001; 42(4):505-510.

- 市田隆文：肝移植後における原疾患の再発とその対応. 肝臓 2001 ; 42(2):63-75.
- 市田隆文、ほか：UNOS の肝移植レシピエント候補者選択基準と優先順位－わが国の肝移植レシピエント選択基準との比較－. 日本消化器病学会雑誌 2001; 98(1): 1-7.
- 市田隆文：肝移植：現況と展望. 治療成績と問題. 原発性胆汁性肝硬変. 日本内科学会雑誌 2001;90(1):35-42.
- 鍋島紀滋、千葉勉、田中紘一：肝移植における抗ウイルス薬の意義. 総合臨床 51 (6) : 2016-2021, 2002
- 横井川規巨、鍋島紀滋、上本伸二、田中紘一：ウイルス性肝炎患者への生体肝移植. 現代医療 34 (1) : 44-47, 2002
- 鈴木秀和、石井裕正：肝硬変に合併した胃・十二指腸潰瘍 肝臓 4 3 2002 70-76
- Ohishi T, Saito H, Tsusaka K, Toda K, Inagaki H, Hamada Y, Kumagai N, Atsukawa K, Ishii H. Anti-fibrogenic effect of an angiotensin converting enzyme inhibitor on chronic carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in rats. *Hepatology* 2001; 21: 147-158
- Horie Y, Yamagishi Y, Kato S, Kajihara M, Kimura H, Ishii H. Low-dose ethanol attenuates gut ischemia/reperfusion-induced liver injury in rats via nitric oxide production. *J Gastroenterol Hepatol.* 2003; 18: 211-217.
- Horie Y, Ishii H. [Severe alcoholic hepatitis in Japan] *Nippon Shokakibyō Gakkai Zasshi.* 2002;99:1326-33. Review. Japanese.
- Yamagishi Y, Saito H, Shimadu M, Hoshino K, Kobayashi H, Nakamoto N, Horie Y, Kato S, Morikawa Y, Kitajima M, Ishii H. [Intensive therapy for fulminant hepatic failure: importance of co-operation between physicians of internal medicine and transplantation surgery] *Nippon Shokakibyō Gakkai Zasshi.* 2002 ;99:1205-12. Japanese.
- Tamai H, Horie Y, Kato S, Yokoyama H, Ishii H. Long-term ethanol feeding enhances susceptibility of the liver to orally administered lipopolysaccharides in rats. *Alcohol Clin Exp Res.* 2002;26:75S-80S.
- Horie Y, Yamagishi Y, Kato S, Kajihara M, Tamai H, Granger DN, Ishii H. Role of ICAM-1 in chronic ethanol consumption-enhanced liver injury after gut ischemia-reperfusion in rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.* 2002;283:G537-43.
- Saito H, Tada S, Wakabayashi K, Nakamoto N, Takahashi M, Nakamura M, Ebinuma H, Ishii H. The detection of IRF-1 promoter polymorphisms and their possible contribution to T helper 1 response in chronic hepatitis C. *J Interferon Cytokine Res.* 2002;22:693-700.
- Adachi M, Ishii H. Role of mitochondria in alcoholic liver injury. *Free Radic Biol Med.* 2002;32:487-91. Review.
- Kuriyama S, Tsujinoue H, Nakatani T, Yoshiji H, Fukui H. Gene therapy for hepatocellular carcinoma: recent advancements and problems to overcome. In: *Molecular Biology and Immunology in Hepatology.* Tsuji T, Higashi T, Zeniya M, Mayer zum Buschenfelde K-H, eds. Elsevier Science, Amsterdam, pp147-168, 2002.
- 栗山茂樹, 辻之上裕久, 美登路昭, 吉治仁志, 木田裕子, 船越文美, 正木勉, 黒河内和貴, 渡辺精四郎, 福井博. 肝癌に対する免疫遺伝子治療\_多発性肝癌に対するアジュバント療法の可能性\_, 再生・増殖・分化と消化器病(小俣政男編), アークメディア, pp150-156, 2002.
- Yoshida S, Kurokohchi K, Arima K, Masaki T, Hosomi N, Funaki T, Murota M, Kita Y, Watanabe S, Kuriyama S. Clinical significance of lens culinaris agglutinin-reactive fraction of serum  $\alpha$ -fetoprotein in patients with hepatocellular carcinoma. *Int J Oncol* 20: 305-309, 2002.
- Wu F, Nishioka M, Fujita J, Murota M, Ohtsuki Y, Ishida T, Kuriyama S. Expression of cytokeratin 19 in human hepatocellular carcinoma cell lines. *Int J Oncol* 20: 31-37, 2002.
- Nakai S, Masaki T, Shiratori Y, Ohgi T, Morishita A, Kurokohchi K, Watanabe S, Kuriyama S. Expression of p57KIP2 in hepatocellular carcinoma: relationship between

tumor differentiation and patient survival. *Int J Oncol* 20: 769-775, 2002.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Hicklin D J, Huber J, Nakatani T, Tsujinoue H, Yanase K, Imazu H, Fukui H. Synergistic effect of basic fibroblast growth factor and vascular endothelial growth factor in murine hepatocellular carcinoma. *Hepatology* 35: 834-842, 2002.

Deguchi A, Arima K, Masaki T, Yachida M, Nakai S, Ito T, Kita Y, Kurokohchi K, Watanabe S, Kuriyama S. Enhanced expression of bcl-2 in lymphocytes infiltrating into the liver of patients with primary biliary cirrhosis. *Int J Mol Med* 9: 571-577, 2002.

Akahane M, Kuriyama S, Ohgushi H, Akahane T, Kawamura K, Watanabe S, Funakoshi F, Yoshiji H, Ikenaka K, Takakura Y. Enhancing and suppressing effects of dexamethasone on transgene expression in vitro. *Int J Mol Med* 10: 107-112, 2002.

Kurokohchi K, Watanabe S, Masaki T, Hosomi N, Funaki T, Arima K, Yoshida S, Nakai S, Murota M, Miyauchi Y, Kuriyama S. Combination therapy of percutaneous ethanol injection and radiofrequency ablation against hepatocellular carcinomas difficult to treat. *Int J Oncol* 21: 611-615, 2002.

Wu F, Fujita J, Murota M, Li J-Q, Ishida T, Nishioka M, Imaida Y, Kuriyama S. CYFRA 21-1 is released in TNF- $\alpha$ -induced apoptosis in the hepatocellular carcinoma cell line HuH-7. *Int J Oncol* 21: 441-445, 2002.

Yoshiji H, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Tsujinoue H, Nakatani T, Imazu H, Yanase K, Kuriyama S, Fukui H. Inhibition of renin-angiotensin system attenuates liver enzyme-altered preneoplastic lesions and fibrosis development in rats. *J Hepatol* 37: 22-30, 2002.

Kurokohchi K, Watanabe S, Masaki T, Hosomi N, Funaki T, Arima K, Yoshida S, Miyauchi T, Kuriyama S. Combined use of percutaneous ethanol injection and radiofrequency ablation for the effective treatment of hepatocellular carcinoma. *Int J Oncol* 21: 841-846, 2002.

Ishizaka S, Shiroy A, Kanda S, Yoshikawa M, Tsujinoue H, Kuriyama S, Hasuma T, Nakatani

K, Takahashi K. Development of hepatocytes from ES cells after transfection with the HNF-3b gene. *FASEB J* 16: 1444-1446, 2002.

Ohgi T, Masaki T, Nakai S, Morishita A, Yukimasa S, Nagai M, Miyauchi Y, Funaki T, Kurokohchi K, Watanabe S, Kuriyama S. Expression of p33ING1 in hepatocellular carcinoma: relationships to tumor differentiation and cyclin E kinase activity. *Scand J Gastroenterol* 12: 1440-1448, 2002.

Wu F, Li J, Miki H, Nishioka M, Fujita J, Ohmori M, Imaida K, Kuriyama S. p107 Expression in colorectal tumours rises during carcinogenesis and falls during invasion. *Eur J Cancer* 38: 1838-1848, 2002.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Nakatani T, Tsujinoue H, Yanase K, Namisaki T, Imazu H, Fukui H. Tissue inhibitor of metalloproteinases-1 attenuates spontaneous liver fibrosis resolution in the transgenic mouse. *Hepatology* 36: 850-860, 2002.

渡辺 哲、新岡真希、石川昭子、岡崎 勲：肝線維化の分子生物学—消化器疾患の最新医療、(幕内雅敏、川野淳、千葉勉、中村仁信、森正樹編) pp68-74、2001年4月、先端医療技術研究所

石川昭子、渡辺 哲、岡崎 勲：肝線維化の分子機構とそのマーカー。臨床消化器内科、16(7号)、2001年5月25日増刊号(消化器疾患の分子医学)、pp899-906、日本メディカルセンター

Okazaki I, Watanabe T, Hozawa S, Niioka M, Arai M, Maruyama K. Reversibility of hepatic fibrosis: from the first report of collagenase in the liver to the possibility of gene therapy for recovery. *Keio J Medicine*, 50: 58-65, 2001

Watanabe T, Niioka M, Hozawa S, Okazaki I. Cells expressing interstitial collagenase mRNA in the recovery from rat liver fibrosis induced by carbon tetrachloride. Cells of the Hepatic Sinusoid (ed. by E. Wisse, D.L. Knook, R.de Zanger, M.J.P. Arthur), vol 8: 277-279, 2001 (August), Kupffer Cell Foundation

Watanabe T, Niioka M, Ishikawa A, Hozawa S, Arai M, Maruyama K, Okada A, Okazaki I.

- Dynamic change of cells expressing MMP-2 mRNA and MT1-MMP mRNA in the recovery from liver fibrosis in the rat. *J Hepatology*, 35: 465-473, 2001
- 岡崎 勲、渡辺 哲、杉岡良彦：肝線維化マーカーによる発癌予知。内科、88 (4) : 625-629、2001 (南江堂)、10月号
- Watanabe T, Niioka M, Shimosakia K, Hozawa S, Okano H, Okazaki I: Neural progenitor cells participate in spontaneous resolution of liver fibrosis by expressing MMP-13. *Hepatology*, 34, No.4, Pt 2: 359A, 2001
- 岡崎 勲、渡辺 哲、稲垣 豊：肝線維化研究の進歩。日本消化器病学会雑誌、99(4) : 353-364、2002年
- Miyaguchi S, Watanabe T, Takahashi H, Saito H, Ishii H. Effect of Interferon Therapy in Patients with Hepatitis C Virus Positive Hepatocellular Carcinoma. *Hepato-Gastroenterology*, 49: 724-729, 2002 (May-Jun)
- 渡辺 哲、新岡真希、杉岡良彦：線維分解系の亢進。肝胆膵、44 (5) : 619-624、2002 (5月号) (アークメディア社) (肝硬変は治るか)
- 岡崎 勲、渡辺 哲：肝線維化の治療戦略、総論。肝胆膵、44 (5) : 589-598、2002 (アークメディア社) (肝硬変は治るか)
- 渡辺 哲：肝の線維化。臓器線維症—発症機序の解明と対策。医学のあゆみ、201 (No 12) : 891-894、2002 (6月22日) (医歯薬出版)
- Watanabe T, Niioka M, Sugioka Y, Inagaki Y, Okano H, Okazaki I. Neural stem/progenitor cells appear in the recovery from liver fibrosis in the rat. *Hepatology*, 36, No 4, Pt 2: 248A, 2002
- Furuya H, Watanabe T, Sugioka Y, Inagaki Y, Okazaki I. Effect of ethanol and docosahexaenoic acid on nerve growth factor-induced neurite formation and neuron specific growth-associated protein gene expression in PC12 cells. *Jpn J Alcohol & Drug Dependence* 37(5), 513-522, 2002
- Tada S, Nakamoto N, Kameyama K, Tsunematsu S, Kumagai N, Saito H, Ishii H. Clinical usefulness of edaravone for acute liver injury. *J Gastroenterol Hepatol* 18(7), 851-857, 2003
- Nakamoto N, Tada S, Kameyama K, Kitamura K, Kurita S, Saito Y, Saito H, Ishii H. A free radical scavenger, edaravone, attenuates steatosis and cell death via reducing inflammatory cytokine production in rat acute liver injury. *Free Radic Res* 37(8), 849-859, 2003
- Horie Y, Yamagishi Y, Kato S, Kajihara M, Kimura H, Ishii H. Low-dose ethanol attenuates gut ischemia/reperfusion-induced liver injury in rats via nitric oxide production. *J Gastroenterol Hepatol* 18, 211-217, 2003
- Ishii H, Adachi M, Jose C, Fernandez-Checa, Arthur I, Cederbaum, Ion V, Deaci U, Amin A, Nanji. Role of Apoptosis in Alcoholic Liver Injury. *Alcohol Clin Exp Res* 27, 1207-1212, 2003
- Kajihara M., Kato S., Okazaki Y., Kawakami Y., Ikeda Y., Ishii H., Kuwana M. A role of autoantibody-mediated platelet destruction in thrombocytopenia in patients with cirrhosis. *Hepatology* 37(6), 1267-1276, 2003
- 加藤章信, 岩井正勝, 鈴木一幸: 肝性脳症の機序と潜在性肝性脳症の診断。肝胆膵 47: 63-73 2002
- 鈴木一幸: 肝性脳症の治療。「先端医療シリーズ 25 肝・胆・膵疾患の最新の治療」戸田剛太郎, 沖田 極, 松野正紀編, 寺田国際事務所/先端医療技術研究所, 東京, 2003, 145-151
- 鈴木一幸: 肝性脳症と血液アンモニア。「肝疾患診療のコツと落とし穴」井廻道夫編, 中山書店, 東京, 2002, 34-35
- 鈴木一幸: 軽度の肝性脳症 (潜在性肝性脳症) は診断可能か?。「消化器診療二頁の秘訣」加嶋 敬編, 金原出版, 東京, 2002, 124-125
- 遠藤龍人, 鈴木一幸: 肝疾患の所見。救急医学 27: 532-533, 2003



岩井正勝, 遠藤龍人, 滝川康裕, 加藤章信, 鈴木一幸: 肝不全の輸液療法と栄養補給. 臨床と研究 80: 1006-1012, 2003

Fukushima H, Miwa Y, Ida E, Moriwaki H, et al: Nocturnal branched-chain amino acid administration improves protein metabolism in patients with liver cirrhosis: comparison with daytime administration. *J Parenter Enteral Nutr.* 2003; 27: 315-22.

市田隆文: 肝移植時の B 型肝炎ウイルスと C 型肝炎ウイルス再感染の予防と治療. 肝胆膵 2003;47(5):715-724.

Ichida T: Artificial liver support system for fulminant hepatic failure as bridge-use to living donor liver transplantation. *Internal Med* 2003; 42(10): 920-921.

市田隆文: 生体肝移植におけるドナー選択のピットホール. 今日の新移植 2003;16(5):440-450

市田隆文: バイオ人工肝臓の臨床成績と適応. 細胞 2003;35(12):456-458

Kuriyama S, Tsujinoue H, Yoshiji H. Immune response to suicide gene therapy. In: *Suicide Gene Therapy: Methods and Reviews*. Springer CJ, ed. Humana Press, Totowa, New Jersey, pp353-369, 2003.

Yoshiji H, Kuriyama S, Fukui H. Renin-angiotensin system and hepatocellular carcinoma: role of angiogenesis. In: *Recent Research Development in Cancer Vol 5*. Mukhtar H, Labrie F, eds. Transworld Research Network, Kerala, India, pp39-51, 2003.  
Murota M, Watanabe S, Fujita J, Ohtsuki Y, Wu F, Yoshida S, Kita Y, Funakoshi F, Masaki T, Kurokohchi K, Uchida N, Ishida T, Kuriyama S. Aberrant cytokeratin expression and high susceptibility to apoptosis in autoimmune hepatitis. *Hepato Res* 25: 271-280, 2003.

Kobara H, Uchida N, Tsutsui K, Kurokohchi K, Fukuma H, Ezaki T, Kuriyama S. Abnormal bile flow in patients with achalasia. *J Gastroenterol* 38: 327-331, 2003.

Wakabayashi H, Ushiyama T, Ishimura K, Izuishi K, Karasawa Y, Masaki T, Watanabe S,

Kuriyama S, Maeta H. Significance of reduction surgery in multidisciplinary treatment of advanced hepatocellular carcinoma with multiple intrahepatic lesions. *J Surg Oncol* 82: 98-103, 2003.

Masaki T, Shiratori Y, Rengifo W, Igarashi K, Yamagata M, Kurokohchi K, Uchida N, Miyauchi Y, Yoshiji H, Watanabe S, Omata M, Kuriyama S. Cyclins and cyclin-dependent kinases: comparative study of hepatocellular carcinoma versus cirrhosis. *Hepatology* 37: 534-543, 2003.

Li J-Q, Kubo A, Wu F, Usuki H, Fujita J, Bandoh S, Masaki T, Saoo K, Takeuchi H, Kobayashi S, Imaida K, Maeta H, Ishida T, Kuriyama S. Cyclin B1, unlike cyclin G1, increases significantly during colorectal carcinogenesis and during later metastasis to lymph nodes. *Int J Oncol* 22: 1101-1110, 2003.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Yamazaki M, Tsujinoue H, Imazu H, Fukui H. Extracellular matrix remodeling may predominate over hepatocyte injury in hepatocellular carcinoma development. *Oncol Rep* 10: 957-962, 2003.

Ikenaka Y, Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Noguchi R, Tsujinoue H, Yanase K, Namisaki T, Imazu H, Masaki T, Fukui H. Tissue inhibitor of metalloproteinases-1 (TIMP-1) inhibits tumor growth and angiogenesis in the timp-1 transgenic mouse model. *Int J Cancer* 105: 340-346, 2003.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Yamazaki M, Tsujinoue H, Imazu H, Fukui H. The copper-chelating agent, trientine, attenuates liver enzyme-altered preneoplastic lesions in rats by angiogenesis suppression. *Oncol Rep* 10: 1369-1373, 2003.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Hicklin D-J, Wu Y, Yanase K, Namisaki T, Yamazaki M, Tsujinoue H, Imazu H, Masaki T, Fukui H. Vascular endothelial growth factor and receptor interaction is a prerequisite for murine hepatic fibrogenesis. *Gut* 52: 1347-1354, 2003.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Yamazaki M,

- Tsujinoue H, Imazu H, Fukui H. Angiotensin-II induces the tissue inhibitor of metalloproteinases-1 through the protein kinase-C signaling pathway in rat liver fibrosis development. *Hepato Res* 27: 51-56, 2003.
- Iihara N, Kurokohchi K, Tsukamoto T, Masaki T, Kuriyama S, Ohnishi H, Taminato T, Morita S. Hypoglycaemia in patients with liver diseases administered levothyroxine. *J Clin Pharm Ther* 28: 355-361, 2003.
- Li J-Q, Wu F, Usuki H, Kubo A, Masaki T, Fujita J, Bandoh S, Saoo K, Takeuchi H, Kuriyama S, Ishida T, Imaida K. Loss of p57KIP2 is associated with colorectal carcinogenesis. *Int J Oncol* 23: 1537-1543, 2003.
- Uchida N, Tsutsui K, Ezaki T, Fukuma H, Kobara H, Kamata H, Aritomo Y, Masaki T, Watanabe S, Kobayashi S, Nakatsu T, Nakano H, Kuriyama S. Combination of assay of human telomerase reverse transcriptase mRNA and cytology using bile obtained by endoscopic transpapillary catheterization into the gallbladder for diagnosis of gallbladder carcinoma. *Am J Gastroenterol* 98: 2415-2419, 2003.
- Noguchi R, Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Yanase K, Namisaki T, Kitade M, Yamazaki M, Mitoro A, Tsujinoue H, Imazu H, Masaki T, Fukui H. Combination of interferon- $\beta$  and the angiotensin-converting enzyme inhibitor, perindopril, attenuates murine hepatocellular carcinoma development and angiogenesis. *Clin Cancer Res* 9: 6038-6045, 2003.
- Uchida N, Tsutsui K, Ezaki T, Fukuma H, Masaki T, Kobara H, Watanabe S, Kuriyama S. Conversion from external nasobiliary drainage to internal drainage using endoscopically available scissor forceps. *Hepatogastroenterology* 50:1891-1893, 2003.
- Watanabe S, Uchida N, Masaki T, Kurokohchi K, Touge T, Kuriyama S, Ohnishi Y, Tanaka H, Kurose T, Hata T. Measurement of left portal vein blood flow velocity by doppler sonography in a patient with acute fatty liver of pregnancy. *J Med Ultrasound* 30: 57-61, 2003.
- Uchida N, Tsutsui K, Kobara H, Ezaki T, Fukuma H, Yachida M, Masaki T, Watanabe S, Nakatsu T, Nakano H, Kuriyama S. A case of gallbladder carcinoma diagnosed preoperatively by the detection of human telomerase reverse transcriptase mRNA in endoscopically obtained gallbladder bile. *Endoscopy* 35: 185-188, 2003.
- Tsujimoto T, Kuriyama S, Yoshiji H, Fujimoto M, Kojima H, Yoshikawa M, Fukui H. Ultrasonographic findings of amebic colitis. *J Gastroenterol* 38: 82-86, 2003.
- Akahane T, Kuriyama S, Matsumoto M, Kikuchi E, Kikukawa M, Yoshiji H, Masui K, Fukui H. Pancreatic pleural effusion with a pancreaticopleural fistula diagnosed by magnetic resonance cholangiopancreatography and cured by somatostatin analogue treatment. *Abdom Imaging* 28: 92-95, 2003.
- Uchida N, Ezaki T, Fukuma H, Tsutsui K, Kobara H, Matsuoka M, Masaki T, Watanabe S, Yoshida M, Maeta T, Koi F, Nakatsu T, Kuriyama S. Concomitant colitis associated with primary sclerosing cholangitis. *J Gastroenterol* 38: 482-487, 2003.
- Ishii H. Common pathogenic mechanisms in ASH and NASH. *Hepato Res*. 2004 Jan;28(1):18-20.
- Nakamura Y, Yokoyama H, Higuchi S, Hara S, Kato S, Ishii H. Acetaldehyde accumulation suppresses Kupffer cell release of TNF- $\alpha$  and modifies acute hepatic inflammation in rats. *J Gastroenterol*. 2004;39(2):140-7.
- Tomita K, Azuma T, Kitamura N, Nishida J, Tamiya G, Oka A, Inokuchi S, Nishimura T, Suematsu M, Ishii H. Pioglitazone prevents alcohol-induced fatty liver in rats through up-regulation of c-Met. *Gastroenterology*. 2004 Mar;126(3):873-85.
- Konishi M, Kato S, Kajihara, Cederbaum, Ishii H. Ethanol upregulates pro-fibrogenic connective tissue growth factor (CTGF) gene expression in HepG2 cells via cytochrome P450 2E1-mediated ethanol oxidation. *Hepato Res* 2004;28:102-108.
- Adachi M, Higuchi H, Miura S, Azuma T, Inokuchi S, Saito H, Kato S, Ishii H. Bax interacts with the voltage-dependent anion channel and mediates ethanol-induced apoptosis in rat hepatocytes. *Am J Physiol Gastrointest*

- Liver Physiol. 2004 Sep;287(3):G695-705. Epub 2004 Mar 25.
- Yamagishi Y, Horie Y, Kajihara M, Konishi M, Ebinuma H, Saito H, Kato S, Yokoyama A, Maruyama K, Ishii H. Hepatocellular carcinoma in heavy drinkers with negative markers for viral hepatitis. *Hepatol Res.* 2004 Apr;28(4):177-183.
- Kato A, Kato M, Ishii H, Ichimiya Y, Suzuki K, Kawasaki H, Yamamoto SI, Kumashiro R, Yamamoto K, Kawamura N, Hayashi N, Matsuzaki S, Terano A, Okita K, Watanabe A. Development of quantitative neuropsychological tests for diagnosis of subclinical hepatic encephalopathy in liver cirrhosis patients and establishment of diagnostic criteria-multicenter collaborative study in Japanese. *Hepatol Res.* 2004 Oct;30(2):71-78.
- Ishii H. Foreword. *Hepatol Res.* 2004 Dec;30S:1.
- Saito H, Ishii H. Recent understanding of immunological aspects in alcoholic hepatitis. *Hepatol Res.* 2004 Dec;30(4):193-198.
- Kato S, Ishii H. Lifestyle guidance for patients with chronic liver diseases; information provision via educational classes on liver diseases. *Hepatol Res.* 2004 Dec;30S:81-85. Epub 2004 Nov 11.
- Yokomori H, Yoshimura K, Nagai T, Fujimaki K, Nomura M, Hibi T, Ishii H, Oda M. Sinusoidal endothelial fenestrae organization regulated by myosin light chain kinase and Rho-kinase in cultured rat sinusoidal endothelial cells. *Hepatol Res.* 2004 Nov;30(3):169-174.
- Horie Y, Ishii H. What factors play a crucial role in the pathogenesis of alcohol-related chronic pancreatitis and liver cirrhosis? *J Gastroenterol.* 2004 Sep;39(9):915-7.
- Tomita K, Azuma T, Kitamura N, Tamiya G, Ando S, Nagata H, Kato S, Inokuchi S, Nishimura T, Ishii H, Hibi T. Leptin deficiency enhances sensitivity of rats to alcoholic steatohepatitis through suppression of metallothionein. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.* 2004 Nov;287(5):G1078-85.
- Fukuda M, Yokoyama H, Mizukami T, Ohgo H, Okamura Y, Kamegaya Y, Horie Y, Kato S, Ishii H. Kupffer cell depletion attenuates superoxide anion release into the hepatic sinusoids after lipopolysaccharide treatment. *J Gastroenterol Hepatol.* 2004 Oct;19(10):1155-62.
- Ishii H. Introduction to the JASBRA Supplement. *Alcohol Clin Exp Res.* 2004 Aug;28(8):97S.
- Horie Y, Kajihara M, Mori S, Yamagishi Y, Kimura H, Tamai H, Kato S, Ishii H. Japanese herbal medicine, Saiko-keishi-to, prevents gut ischemia/reperfusion-induced liver injury in rats via nitric oxide. *World J Gastroenterol.* 2004 Aug 1;10(15):2241-4.
- Ebinuma H, Saito H, Tada S, Masuda T, Kamiya T, Nishida J, Yoshioka M, Ishii H; KEIO Interferon-beta Study Group. Additive therapeutic effects of the liver extract preparation mixture adelavin-9 on interferon-beta treatment for chronic hepatitis C. *Hepatogastroenterology.* 2004 Jul-Aug;51(58):1109-14.
- Maeda N, Watanabe M, Okamoto S, Kanai T, Yamada T, Hata J, Hozumi N, Katsume A, Nuriya H, Sandhu J, Ishii H, Kohara M, Hibi T. Hepatitis C virus infection in human liver tissue engrafted in mice with an infectious molecular clone. *Liver Int.* 2004 Jun;24(3):259-67.
- Saito H, Tada S, Nakamoto N, Kitamura K, Horikawa H, Kurita S, Saito Y, Iwai H, Ishii H. Efficacy of non-invasive elastometry on staging of hepatic fibrosis. *Hepatol Res.* 2004 Jun;29(2):97-103.
- Kaneko F, Saito H, Saito Y, Wakabayashi K, Nakamoto N, Tada S, Suzuki H, Tsunematsu S, Kumagai N, Ishii H. Down-regulation of matrix-invasive potential of human liver cancer cells by type I interferon and a histone deacetylase inhibitor sodium butyrate. *Int J Oncol.* 2004 Apr;24(4):837-45.
- Horie Y, Han JY, Mori S, Konishi M, Kajihara M, Kaneko T, Yamagishi Y, Kato S, Ishii H, Hibi T. Herbal cardiogenic pills prevent gut ischemia/reperfusion-induced hepatic microvascular dysfunction in rats fed ethanol chronically. *World J Gastroenterol.* 2005 Jan 28;11(4):511-5.

- Takahashi M, Saito H, Higashimoto M, Atsukawa K, Ishii H. Benefit of hepatitis C virus core antigen assay in prediction of therapeutic response to interferon and ribavirin combination therapy. *J Clin Microbiol.* 2005 Jan;43(1):186-91.
- Sawara K, Kato A, Suzuki K, et al: Brain glutamine and glutamate levels in patients with liver cirrhosis: assessed by 3.0-T MRS. *Hepatology Res* 30: 18-23, 2004
- Kato A, Kato M, Suzuki K, et al: Development of quantitative neuropsychological tests for diagnosis of subclinical hepatic encephalopathy in liver cirrhosis patients and establishment of diagnostic criteria-multicenter collaborative study in Japanese. *Hepatology Res* 30: 71-78, 2004
- Takeishi T, Sato Y, Ichida T, Yamamoto S, Hirano K, Kobayashi T, Watanabe T, Hatakeyama K. Rapid progressive hepatitis C after liver transplantation: a case report. *Transplant Proc.* 2004 ; 36: 2304
- Yamamoto S, Sato Y, Ichida T, Kurosaki I, Nakatsuka H, Hatakeyama K: Acute renal failure during the early postoperative period in adult living-related donor liver transplantation. *Hepatology*. 2004; 51: 1815-1819.
- Ikai I, Arai S, Kojiro M, Ichida T, Makuuchi M, Matsuyama Y, Nakanuma Y, Okita K, Omata M, Takayasu K, Yamaoka Y: Reevaluation of prognostic factors for survival after liver resection in patients with hepatocellular carcinoma in a Japanese nationwide survey. *Cancer* 2004; 101: 796-802
- Sato Y, Watanabe H, Ichida T, Yamamoto S, Nakatsuka H, Oya H, Kameyama H, Watanabe T, Shimamura K, Abo T, Hatakeyama K: Wall shear stress and intrahepatic leukocytes of graft in living related donor liver transplantation. *Hepatology*. 2004; 51: 329-333.
- Sato Y, Ichida T, Watanabe H, Yamamoto S, Abo T, Hatakeyama K. Macrochimerism of donor type CD56+ CD3+ T cells in donor specific transfusion via portal vein following living related donor liver transplantation. *Hepatology*. 2003; 50: 2161-2165.
- Sakaida I, Shen J, Uchida K, Aoyama K, Ishikawa T, Terai S, Okita K. Leptin enhanced TNF-alpha production via p38 and JNK MAPK in LPS-stimulated Kupffer cells. *Hepatology* 40-4,196A, 2004 (AASLD 2004)
- Ishikawa T, Terai S, Urata Y, Marumoto Y, Aoyama K, Omori K, Sakaida I, Nishina H, Okita K. Fibroblast growth factors enhance the repopulation and differentiation of bone marrow cells into hepatocyte. *Hepatology* 40-4,380A, 2004 (AASLD 2004)
- Yokoyama Y, Terai S, Omori K, Aoyama K, Ishikawa T, Takami T, Sakaida I, Nishina H, Okita K. Proteomic analysis of serum protein in carbon tetrachloride treated mice transplanted bone marrow cells. *Hepatology* 40-4, 382A, 2004 (AASLD 2004)
- Sakaida I, Tsuchiya M, Okamoto M, Terai S, Okita K. The effect of late evening snack in patients with liver cirrhosis. *Hepatology* 40-4, 632A, 2004 (AASLD 2004)
- Yamamoto N, Terai S, Ohata S, Watanabe T, Omori K, Shinoda K, Miyamoto K, Katada, Sakaida I, Nishina H, Okita K A subpopulation of bone marrow cells depleted by a novel antibody, anti-Liv8, is useful for cell therapy to repair damaged liver. *BBRC* 313:1110-1118, 2004
- Sakaida I, Hironaka K, Kimura T, Terai S, Yamasaki T, Okita K. Herbal medicine Sho-saiko-to (TJ-9) increases expression matrix metalloproteinases (MMPs) with reduced expression of tissue inhibitor of metalloproteinases (TIMPs) in rat stellate cell. *Life Sci.* 2004 Mar 19;74(18):2251-63
- Yokoyama Y, Kuramitsu Y, Takashima M, Iizuka N, Toda T, Terai S, Sakaida I, Oka M, Nakamura K, Okita K. Proteomic profiling of proteins decreased in hepatocellular carcinoma from patients infected with hepatitis C virus. *Proteomics* 2004 Jul;4(7):2111-6.
- Sakaida I, Terai S, Yamamoto N, Aoyama K, Ishikawa T, Nishina H, Okita K. Transplantation of bone marrow cells reduces CCl4-induced liver fibrosis in mice. *Hepatology.* 2004 Dec;40(6):1304-11.
- Omori K, Terai S, Ishikawa T, Aoyama K,

Sakaida I, Nishina H, Shinoda K, Uchimura S, Hamamoto Y, Okita K. Molecular signature associated with plasticity of bone marrow cell under persistent liver damage by self-organizing-map-based gene expression. *FEBS Lett.* 2004 Dec 3;578(1-2):10-20.

Yoshihiko Sugioka, Tetsu Watanabe, Yutaka Inagaki, Miwa Kushida, Maki Niioka, Hitoshi Endo, Reiichi Higashiyama and Isao Okazaki. c-Jun NH2-terminal kinase pathway is involved in constitutive matrix metalloproteinase-1 expression in a hepatocellular carcinoma-derived cell line. *Int J Cancer*, 109: 867-874, 2004

Shun Ito, Hiroyuki Furuta, Bang-on Theptien, Noriko Ishikawa, Tetsu Watanabe, Son-arch Wongkhomthong, Isao Okazaki. Comparative socio-cultural analysis of smoking behavior and difficulty of quitting smoking in Japan and Thailand. *Jpn J Public Health*, 51: 975-985, 2004

Isao Okazaki, Tetsu Watanabe, Maki Niioka, Yoshihiko Sugioka, Yutaka Inagaki. Reversibility of Liver fibrosis: Role of Matrix Metalloproteinases. In *Fibrogenesis: Cellular and Molecular Basis* (ed. By Mohammed S. Razzaque) Kluwer Academic/ Plenum Publishers, New York (U.S.A.) Landes Bioscience, 2005, Chapter 12, pp143-159

Watanabe S, Kurokohchi K, Masaki T, Miyauchi Y, Funaki T, Inoue H, Himoto T, Kita Y, Uchida N, Touge T, Tatsukawa T, Kuriyama S. Enlargement of thermal ablation zone by the combination of ethanol injection and radiofrequency ablation in excised bovine liver. *Int J Oncol* 24: 279-284, 2004.

Jin Y, Masaki T, Yoshida S, Kita Y, Han F, Uchida N, Yoshiji H, Kitanaka A, Watanabe S, Kurokohchi K, Kuriyama S. Identification of p46 Shc expressed in the nuclei of hepatocytes with high proliferating activity: Study of regenerating rat liver. *Int J Mol Med* 13: 721-728, 2004.

Kurokohchi K, Masaki T, Miyauchi Y, Funaki T, Yoneyama H, Miyoshi H, Yoshida S, Himoto T, Morishita A, Uchida N, Watanabe S, Kuriyama S. Percutaneous ethanol and lipiodol injection therapy for hepatocellular carcinoma. *Int J Oncol* 24: 381-387, 2004.

Kita Y, Masaki T, Funakoshi F, Yoshida S, Tanaka M, Kurokohchi K, Uchida N, Watanabe S, Matsumoto K, Kuriyama S. Expression of G1 phase-related cell cycle molecules in naturally developing hepatocellular carcinoma of Long-Evans Cinnamon rats. *Int J Oncol* 24: 1205-1211, 2004.

Funakoshi F, Masaki T, Kita Y, Hitomi M, Kurokohchi K, Uchida N, Watanabe S, Yoshiji H, Kuriyama S. Proliferative capability of hepatocytes and expression of G1-related cell cycle molecules in the development of liver cirrhosis in rats. *Int J Mol Med* 13: 779-787, 2004.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Hicklin DJ, Wu Y, Yanase K, Namisaki T, Kitade M, Yamazaki M, Tsujinoue H, Masaki T, Fukui H. Halting the interaction between vascular endothelial growth factor and its receptors attenuates liver carcinogenesis in mice. *Hepatology* 39: 1517-1524, 2004.

Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Kitade M, Yamazaki M, Tsujinoue H, Masaki T, Fukui H. Involvement of the vascular endothelial growth factor receptor-1 in murine hepatocellular carcinoma development. *J Hepatol* 41: 97-103, 2004.

Tanaka M, Watanabe S, Masaki T, Kurokohchi K, Kinekawa F, Inoue H, Uchida N, Kuriyama S. Fulminant hepatic failure caused by malignant melanoma of unknown primary origin. *J Gastroenterol* 39: 804-806, 2004.

Morishita A, Masaki T, Yoshiji H, Nakai S, Ohgi T, Miyauchi Y, Yoshida S, Funaki T, Uchida N, Kita Y, Funakoshi F, Usuki H, Okada S, Izuishi K, Watanabe S, Kurokohchi K, Kuriyama S. Reduced expression of cell cycle regulator p18INK4C in human hepatocellular carcinoma. *Hepatology* 40: 677-686, 2004.

Tominaga K, Kuriyama S, Yoshiji H, Deguchi A, Kita Y, Funakoshi F, Masaki T, Kurokohchi K, Uchida N, Tsujimoto T, Fukui H. Repeated adenoviral administration into the biliary tract can induce repeated expression of the original gene construct in rat livers without immunosuppressive strategies. *Gut* 53: 1167-1173, 2004.

Yoshida S, Masaki T, Han F, Jin YJ, Miyauchi Y, Funaki T, Yoshiji H, Matsumoto K, Uchida N, Watanabe S, Kurokohchi K, Kuriyama S. Enhanced expression of adaptor molecule p46 Shc in nuclei of hepatocellular carcinoma cells: Study of LEC rats. *Int J Oncol* 25: 1089-1096, 2004.

Yoshiji H, Kuriyama S, Noguchi R, Fukui H. Angiotensin-I converting enzyme inhibitors as potential anti-angiogenic agents for cancer therapy. *Current Cancer Drug Targets* 4: 555-567, 2004.

Kurokohchi K, Masaki T, Miyauchi Y, Hosomi N, Yoneyama H, Yoshida S, Himoto T, Deguchi A, Nakai S, Inoue H, Watanabe S, Kuriyama S. Efficacy of combination therapies of percutaneous or laparoscopic ethanol-lipiodol injection and radiofrequency ablation. *Int J Oncol* 25: 1737-1743, 2004.

Kuriyama S, Yoshiji H, Nakai S, Deguchi A, Uchida N, Kimura Y, Inoue H, Kinekawa F, Ogawa M, Nonomura T, Masaki T, Kurokohchi K, Watanabe S. Adenovirus-mediated gene

transfer into rat livers: Comparative study of retrograde intrabiliary and antegrade intraportal administration. *Oncol Rep* 13: 69-74, 2005.

Kurokohchi K, Masaki T, Himoto T, Deguchi A, Nakai S, Yoneyama H, Yoshida S, Kimura Y, Inoue H, Kinekawa F, Yoshitake A, Izuishi K, Watanabe S, Kuriyama S. Successful laparoscopic radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma adhered to the mesentery after transcatheter arterial embolization. *Oncol Rep* 13: 65-68, 2005.

Kimura Y, Selmi C, Leung PS, Mao TK, Schauer J, Watnik M, Kuriyama S, Nishioka M, Ansari AA, Coppel RL, Invernizzi P, Podda M, Gershwin ME. Genetic polymorphism influencing xenobiotic metabolism and transport in patients with primary biliary cirrhosis. *Hepatology* 41: 55-63, 2005.

## H. 財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

寺井 崇二、高見 太郎、坂井田 功、沖田 極  
特許出願 2004-267065 新規肝細胞癌の腫瘍マーカー抗 HHMIgG の発見

### 2. 実用新案登録

特になし

### 3. その他

本研究プロジェクトで作製された抗 Liv2 抗体と MAP キナーゼ関連分子特異抗体が、2002年7月より(株)生物医学研究所から発売されている。

## II. 研究成果の刊行に関する一覧表

主任研究者 石井裕正

書籍：なし

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
鈴木秀和、 石井裕正	肝硬変に合併した胃・十二指腸潰瘍	肝臓	49	70-76	2002
Ohishi T, Saito H, Ishii H, et al.	Anti-fibrogenic effect of an angiotensin converting enzyme inhibitor on chronic carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in rats	Hepatol Res	21	147-158	2001
堀江義則、 石井裕正	重症型アルコール性肝炎の全国調査	日本消化器病学会雑誌	99	1326-1333	2002
山岸由幸、 齋藤英胤、 石井裕正、 他	当院における急性肝不全治療：内科・外科連携の重要性	日本消化器病学会雑誌	99	1205-1212	2002
Tamai H, Horie Y, Kato S, Yokoyama H, Ishii H	Long-term ethanol feeding enhances susceptibility of the liver to orally administered lipopolysaccharides in rats	Alcohol Clin Exp Res	26	75S-80S	2002
Horie Y, Yamagishi Y, Ishii H, et al.	Role of ICAM-1 in chronic ethanol consumption-enhanced liver injury after gut ischemia-reperfusion in rats	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	283	G537-543	2002
Saito H, Tada S, Ishii H, et al.	The detection of IRF-1 promoter polymorphisms and their possible contribution to T helper 1 response in chronic hepatitis C	J Interferon Cytokine Res	22	693-700	2002
Adachi M, Ishii H	Role of mitochondria in alcoholic liver injury	Free Radic Biol Med	32	487-491	2002
Tada S, Nakamoto N, Ishii H, et al	Clinical usefulness of edaravone for acute liver injury.	J Gastroenterol Hepatol	18	851-857,	2003
Nakamoto N, Tada S, Ishii H, et al	A free radical scavenger, edaravone, attenuates steatosis and cell death via reducing inflammatory cytokine production in rat acute liver injury.	Free Radic Res,	37	849-859,	2003
Horie Y. Yamagishi Y. Ishii H, et al.	Low-dose ethanol attenuates gut ischemia/reperfusion-induced liver injury in rats via nitric oxide production.	J Gastroenterol Hepatol	18	211-217	2003
Ishii H, et al.	Role of Apoptosis in Alcoholic Liver Injury. Alcohol	Clin Exp Res	27	1207-1212	2003
Ishii H	Common pathogenic mechanisms in ASH and NASH	Hepatol Res	28	18-20	2004
Nakamura Y, Yokoyama H, Ishii H, et al.	Acetaldehyde accumulation suppresses Kupffer cell release of TNF-Alpha and modifies acute hepatic inflammation in rats	J Gastroenterol	39	140-147	2004

Tomita K, Azuma T, Ishii H, et al.	Pioglitazone prevents alcohol-induced fatty liver in rats through up-regulation of c-Met	Gastroenterology	126	873-885	2004
Konishi M, Kato S, Ishii H, et al.	Ethanol upregulates pro-fibrogenic connective tissue growth factor (CTGF) gene expression in HepG2 cells via cytochrome P450 2E1-mediated ethanol oxidation	Hepatology Res	28	102-108	2004
Adachi M, Higuchi H, Ishii H, et al.	Bax interacts with the voltage-dependent anion channel and mediates ethanol-induced apoptosis in rat hepatocytes	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	287	G695-705	2004
Yamagishi Y, Horie Y, Ishii H, et al.	Hepatocellular carcinoma in heavy drinkers with negative markers for viral hepatitis	Hepatology Res	28	177-183	2004
Saito H, Ishii H	Recent understanding of immunological aspects in alcoholic hepatitis	Hepatology Res	30	193-198	2004
Kato S, Ishii H	Lifestyle guidance for patients with chronic liver diseases; information provision via educational classes on liver diseases	Hepatology Res	30 S	81-85	2004
Fukuda M, Yokoyama H, Ishii H, et al.	Kupffer cell depletion attenuates superoxide anion release into the hepatic sinusoids after lipopolysaccharide treatment	J Gastroenterol Hepatol	19	1155-1162	2004
Saito H, Tada S, Ishii H, et al.	Efficacy of non-invasive elastometry on staging of hepatic fibrosis	Hepatology Res	29	97-103	2004
Kaneko F, Saito H, Ishii H, et al.	Down-regulation of matrix-invasive potential of human liver cancer cells by type I interferon and a histone deacetylase inhibitor sodium butyrate	Int J Oncol	24	837-845	2004
Horie Y, Han JY, Ishii H, et al.	Herbal cardioprotective pills prevent gut ischemia/reperfusion-induced hepatic microvascular dysfunction in rats fed ethanol chronically	World J Gastroenterol	11	511-515	2005

分担研究者 鈴木一幸

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版年	ページ
鈴木一幸	肝性脳症の治療	戸田剛太郎、沖田極、松野正紀	「先端医療シリーズ 25 肝・胆・膵疾患の最新の治療」	寺田国際事務所 / 先端医療技術研究所	2003	145-151
鈴木一幸	肝性脳症と血液アンモニア	井廻道夫	「肝疾患診療のコツと	中山書店	2002	34-35



			落とし穴」			
鈴木一幸	軽度の肝性脳症（潜在性肝性脳症）は診断可能か？	加嶋 敬	「消化器診療二頁の秘訣」	金原出版	2002	124-125

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
K Suzuki Y Takikawa	Marked improvement in the resolution of, and survival rates in, spontaneous bacterial peritonitis	J Gastroenterol	37	149-150	2002
三浦義明 遠藤龍人 鈴木一幸	腹水の治療のチェックポイント	臨床消化器内科	17	1053-1059	2002
井上義博、 鈴木一幸	食道静脈瘤・門脈圧亢進症	総合臨床	51	1483-1487	2002
加藤章信、 鈴木一幸、 他	潜在性肝性脳症の診断と治療	肝胆膵	44	665-674	2002
加藤章信、 岩井正勝、 鈴木一幸	肝性脳症の機序と潜在性肝性脳症の診断	肝胆膵	47	63-73	2002
遠藤龍人、 鈴木一幸	肝疾患の所見	救急医学	27	532-533	2003
岩井正勝、 遠藤龍人、 鈴木一幸、 他	肝不全の輸液療法と栄養補給	臨床と研究	80	1006-1012	2003
加藤章信、 岩井正勝、 鈴木一幸	意識障害	肝胆膵	50	263-269	2004
岩井正勝、 加藤章信、 鈴木一幸、 他	肝硬変における肝実質機能評価法としての 13C-フェニルアラニン呼気テストの有用性	消化器科	39	164-168	2004
Sawara K, Kato A, Suzuki K, et al.	Brain glutamine and glutamate levels in patients with liver cirrhosis: assessed by 3.0-T MRS	Hepato Res	30	18-23	2004
Kato A, Kato M, Suzuki K, et al.	Development of quantitative neuropsychological tests for diagnosis of subclinical hepatic encephalopathy in liver cirrhosis patients and establishment of diagnostic criteria-multicenter collaborative study in Japanese	Hepato Res	30	71-78	2004

分担研究者 幕内博康  
書籍 なし  
雑誌 なし

分担研究者 福井 博  
書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版年	ページ
福井 博	腹水	戸田剛太郎、杉町圭蔵、中村孝司	消化器疾患最新の治療2003-2004	南江堂	2002	336-340
Fukui H Uemura M Tsuji T	Pathophysiology and treatment of cirrhotic ascites	Yamanaka, M et al	Liver cirrhosis update	Excerpta Medica	1998	63-76

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
植村正人、 山尾純一、 福井 博	難治性腹水の病態と治療	消化器科	35	448-452	2002
福井 博	腹水・肝腎症候群.	肝臓	43	84-93	2002
Yoshiji, H. Kuriyama, S. Fukui, H, et al.	Angiotensin-II type 1 receptor interaction is a major regulator for liver fibrosis development in rats	Hepatology	34	745-750	2001
Kojima, H. Sakurai, S. Fukui, H, et al.	Endothelin-1 plays a major role in portal hypertension of biliary cirrhotic rats through endothelin receptor subtype B together with subtype A in vivo	J Hepatolol	34	805-811	2001
Yoshiji H, Kuriyama S, Fukui H, et al.	Vascular endothelial growth factor and receptor interaction is a prerequisite for murine hepatic fibrogenesis.	Gut	52	1347-54.	2003
Moriya K, Kojima H, Fukui H, et al.	Disappearance of hepatic encephalopathy and improvement of liver function after surgical treatment of portal-systemic shunt in a patient with liver cirrhosis.	Hepatogastroenterology	50	1128-32	2003
Yoshiji H, Kuriyama S, Fukui H, et al.	Angiotensin-II induces the tissue inhibitor of metalloproteinases-1 through the protein kinase-C signaling pathway in rat liver fibrosis development.	Hepatol Res	27	51-56	2003

分担研究者 森脇久隆  
書籍 なし  
雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻	ページ	出版年
-------	---------	-------	---	-----	-----

			号		
三輪佳行ら	肝硬変における就寝前エネルギー、分岐鎖アミノ酸投与の効果	消化器科	31	546-551	2000
Miwa Y, Moriawaki H, et al.	Impvornent of fuel metabolism by nocturnal energy supplementation in patients with liver cirrhosis	Hepato Res	18	184-189	2000
Fukushima H, Miwa Y, Ida E, Moriawaki H, et al	Nocturnal branched-chain amino acid administration improves protein metabolism in patients with liver cirrhosis: comparison with daytime administration.	J Parenter Enteral Nutr	27	315-322	2003
Moriawaki H, Miwa Y, et al	Branched-chain amino acids as a protein-and energy-source in liver cirrhosis	BBRC	313	405-409	2004
Shiraki M, Shimomura Y, Moriawaki H, et al.	Activation of hepatic branched-chain $\alpha$ -keto acid dehydrogenase complex by tumor necrosisfactor- $\alpha$ in rats	BBRC	327	973-978	2005

分担研究者 市田隆文  
書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版年	ページ
市田隆文	肝硬変	小俣政男	シャーロック肝臓病学翻訳	西村書店	2004	315-328
市田隆文、川崎誠治	肝細胞癌	各務伸一	コンセンサス2004肝疾	アークメディア	2004	57-74

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
市田隆文	成人肝移植を考慮するタイミング移植を考慮するタイミング	消化器画像	4(2)	159-164	2002
Sato Y, Ichida T, et al	Preoperative administration of 5-FU and IFN beta may prevent recurrence of hepatitis B and C virus	Amer Gastroenterol	J 97(1)	215-216	2002
Sato Y, Ichida T, et al	Real time measurement of anti-HBs levels and donor specific transfusion via portal vein may reduce amount of HBIG after living related donor liver transplantation	Amer Gastroenterol	J 97(2)	488-489	2002
Sato Y, Ichida T, et al.	Living related donor liver transplantation for preoperative $\alpha$ -fetoprotein mRNA-positive patients of hepatocellular carcinoma: Description of five cases	Transplantation Proc	35	352-353	2003
Sato Y, Ichida	Shear stress theory and small-for-	Transplantation	35	78-78	2003

T, et al.	size graft in adult living related liver transplantation	Proc			
Sato Y, Ichida T, et al.	Analysis of microchimerism in peripheral blood by short tandem repeat sequences immediately after living related liver transplantation	Transplantation Proc	35	412-413	2003
市田隆文	肝移植時の B 型肝炎ウイルスと C 型肝炎ウイルス再感染の予防と治療	肝胆膵	47	715-724	2003
Ichida T	Artificial liver support system for fulminant hepatic failure as bridge-use to living Donor liver transplantation.	Internal Med	42(10)	920-921	2003;
市田隆文	生体肝移植におけるドナー選択のピットホール	今日の移植	16(5)	440-450	2003
市田隆文	バイオ人工肝臓の臨床成績と適応	細胞	35(12)	456-458	2003
Takeishi T, Sato Y, Ichida T,	Rapid progressive hepatitis C after liver transplantation: a case report	Transplant Proc	36	2304-2304	2004
市田隆文、嶋田裕慈	肝細胞癌に対する肝移植 Explant liver と画像所見の一致率	肝胆膵	49	575-579	2004
Ikai I, Arai S, Ichida T, et al.	Reevaluation of prognostic factors for survival after liver resection in patients with hepatocellular carcinoma in a Japanese nationwide survey	Cancer	101	796-802	2004
市田隆文	肝移植より変貌を遂げた肝臓病診療	新潟医学会誌	118	327-332	2004
市田隆文、他	原発性胆汁性肝硬変	外科	66	1055-1060	2004
市田隆文、島田裕慈、他	原発性硬化性胆管炎と原発性胆汁性肝硬変の肝移植と再発問題	肝胆膵	49	251-255	2004
市田隆文、他	生体肝移植ドナーが肝不全に陥った事例の検証と再発予防への提言	移植	39	47-55	2004

分担研究者 田中紘一  
書籍 なし  
雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
鍋島紀滋他	肝移植における抗ウイルス薬の意義	総合臨床	51(6)	2016-2021	2002
横井川規巨他	ウイルス性肝炎患者への生体肝移植	現代医療	34(1)	44-47	2002

分担研究者 沖田 極  
書籍 なし  
雑誌